



クレヨンハウス「原発とエネルギーを学ぶ 朝の教室」第138回

小出裕章さん（元京都大学原子炉実験所助教）

講演会開催！

「いま、原発回帰を許さない！」

いつもお世話になっております。

2011年の5月にはじまった、クレヨンハウス「朝の教室」。

吉祥寺に移転して、はじめての「朝の教室」です。

1月22日（日）、小出裕章さんをお迎えします。

2022年。支持率低下を挽回するつもりなのか、岸田文雄首相は、原発政策の大転換を発表。

いまさらながらではありますが、首相の「聞く耳」はどこにいったのでしょうか。民意をどう位置付けているのか。

「国策」という名のもと、福島、破壊された暮らしは何をもってして、補充や補填ができるのでしょうか。

さらに原子力規制委員会は、老朽化した原発の60年を超える延長すら認める姿勢を打ち出しました。

いつどこで、どのようにしてこの数字は弾き出されたのか。

原発に限らず、老朽化しない機械はなく、老朽化と劣化はイコールで結ばれ、ひとたびことが起きれば、想像もつかないような大きな被害をもたらします。

それでも、多くのわたしたちは、「まるで原発などないかのような」日々を再び歩みはじめるのでしょうか。

そうして、いつまで、どこまで、わたしたちは核のごみを増やし続けるのでしょうか。

ぜひご参加ください。また、オンライン配信もございますので、全国どちらからご参加いただけます。貴媒体にて情報掲載をよろしくお願い致します。



『原発に反対しながら研究をつづける 小出裕章さんのおはなし』
小出裕章／監修
野村保子／著
クレヨンハウス／刊

講師プロフィール：小出裕章（こいで・ひろあき）

元京都大学原子炉実験所助教。平和利用を志して原子力を学ぶも、1970年、女川で反原発集會に参加したことを機に原発を止めるために研究を続けることを決意。反原発のため、いまもっとも信頼できる原発研究の第一人者。著書に『「子どもから大人まで、原発と放射能を考える」副読本 原発に反対しながら研究をつづける 小出裕章さんのおはなし』（クレヨンハウス）、『原発事故は終わってない』（毎日新聞出版）など。

クレヨンハウス「原発とエネルギーを学ぶ朝の教室」1月22日（日）10:30～12:00

・講師：小出裕章さん（元京都大学原子炉実験所助教）

- ・企画、進行：落合恵子（作家、クレヨンハウス主宰）
- ・参加費：1,000円（税込）
- ・会場：武蔵野プレイス（武蔵境駅徒歩1分）フォーラム（AB全面）＊吉祥寺から2駅
- ・オンライン配信（再配信は当日18時～ ＊1回のみ）

<https://www.crayonhouse.co.jp/shop/g/g2206090013595/>

本件のお問合せ：ミズ・クレヨンハウス josei@crayonhouse.co.jp

tel.042-227-1447（11:00～19:00）